

# 選 択 科 目 問 題

2023年2月5日

自 10:00

至 11:00

## 答 案 作 成 上 の 注意

1. 選択科目のページは 

日	1
---	---

 から 

数	49
---	----

 までである。

2. 各科目の問題は次のとおりである。1科目を選択し解答すること。

日本史	～	日 1	～	日 12
世界史	～	世 13	～	世 21
地理	～	地 22	～	地 35
政治・経済	～	政 36	～	政 46
数学	～	数 47	～	数 49

3. 解答用紙は日本史、世界史、地理、政治・経済、数学についてそれぞれ1枚である。

4. 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。

5. 受験番号は、指定された箇所に必ず記入し、氏名その他解答以外のことを解答用紙に書かないこと。

# 世界史

## 問題 1

以下の文を読み、下の問い合わせに答えよ。

8世紀の各地域では、古代帝国崩壊後の混乱は過ぎ去り、新しい理念に基づく国際秩序の再編が行われた。東アジアでは、唐がその勢力を中央アジアまで拡大したため、一時期、<sup>(A)</sup>ユーラシア大陸東部のほとんどを占める大帝国となった。対外交易も発展し、ソグド人商人による西域経由の東西貿易が安定したほか、<sup>(B)</sup>海路からアラビアやペルシアのムスリム商人も来航するようになった。そのため、華中・華南の海港が栄え、やがて広州には國家が貿易を管理する **1** が設置された。唐の都の **2** は、これら諸都市を通過した東西の商人や使節が集まる世界都市となった。しかし、755年に起こった **3** が、<sup>(C)</sup>節度使とウイグルの援軍を得てようやく鎮圧されると、節度使が権力を握って **4** として各地に割拠し、唐はしだいにその繁栄を失っていった。

西アジアでは、**5** の支配者であるアラブ人のムスリムが特権を保持し、異民族である異教徒を支配する体制を取っていたが、これに不満を持つ人々が増え、しだいに反体制の動きが強まった。反体制運動は、ムハンマドの一族であるアッバース家を擁立し、750年に<sup>(D)</sup>アッバース朝を建てた。アッバース朝は、アラブ人の特権を廃止し、民族を問わないムスリムの平等を確立したため、**6** へと発展したとされる。領域内では交通網が整備され、首都 **7** は、国際商業の一大中心地として繁栄した。

ヨーロッパでは、<sup>(E)</sup>フランク王国がイベリア半島から北上したイスラーム勢力を撃退し、さらに北イタリアでゲルマン人の国を攻めてその領土を奪い、カトリック教会の指導者のローマ教皇に寄進した。これがローマ教皇領の起源となった。フランク王国は西ローマ皇帝にかわる教会の保護者として認められ、8世紀後半にフランク王となったカール1世（カール大帝、シャルルマーニュ）は、800年にローマ教皇 **8** からローマ皇帝の帝冠を受け、西ヨーロッパ全体の支配者となった。

東南アジアでは、東西両アジア世界の都市の需要にこたえて海の東西交易が著しく発展し、荷物を積みかえて陸上輸送する必要のないマラッカ海峡経由のルートが、東西交易の主要路となった。そのため、スマトラのパレンバンを中心とする **9** 王国が台頭した。8世紀には、ジャワのマレー人勢力が **10** を名乗り、強大な海軍力で東南アジアの海路を支配した。

問 1 文中の  ~  に適切な語句を下記の語群から選べ。

【語群】

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| ア. 安史の乱      | イ. 黄巣の乱       | ウ. ウマイヤ朝    |
| エ. セルジューク朝   | オ. 郷紳         | カ. アラブ帝国    |
| キ. イスラーム帝国   | ク. ドヴァーラヴァティー | ケ. 藩鎮       |
| コ. グレゴリウス1世  | サ. カイロ        | シ. ラタナコーシン朝 |
| ス. 衛所制       | セ. バグダード      | ソ. 長安       |
| タ. シュリーヴィジャヤ | チ. レオ3世       | ツ. 市舶司      |
| テ. 開封        | ト. シャイレンドラ朝   |             |

問 2 下線部(A)に関連して、唐が服属した諸民族を統治するために設置した機関を、下から選べ。

- ア. 都護府 イ. 護民官 ウ. 護国卿

問 3 下線部(B)に関連して、ムスリム商人が航海の時に使った船を、下から選べ。

- ア. ジャンク船 イ. ダウ船 ウ. ガレオン船

問 4 下線部(C)について、以下の文の  に入る語句は何か。下から選べ。

唐の内乱に際し、唐を助けて乱を平定したウイグルは、衰えた唐を事実上従属させ、モンゴル高原に城郭都市を築いて繁栄した。しかし、840年に同じトルコ系の  に攻められて解体した。

- ア. ハザール イ. キルギス ウ. エフタル

問 5 下線部(D)について、751年、アッバース朝軍がタラス河畔で唐軍を撃退したが、この時をきっかけに西方に伝わったと言われているものはなにか。漢字3字で記せ。

問6 下線部(E)について、この時の戦いの名称を、下から選べ。

- ア. トゥール・ポワティエ間の戦い
- イ. アウステルリッツの戦い
- ウ. ニハーヴァンドの戦い

**問題 2**

以下の文を読んで、下の問い合わせに答えよ。

西ヨーロッパでは、11世紀頃から、温和な気候の下での三圃制の普及や犁・水車の改良などの技術発展により農業生産力が向上し、人口も増加した。それに伴って、(A) 内外に向けて拡大する動きが活発になった。 十字軍はその代表例である。

聖地を支配下においていたイスラーム勢力のセルジューク朝がアナトリアに進出すると、脅威を懸念したビザンツ皇帝はローマ教皇 1 に救援を要請した。これを受けた教皇は、1095年、クレルモン教会会議をひらき、聖地回復の聖戦を起こすことを提唱した。これが十字軍である。

第1回十字軍は1099年に聖地を占領し、2 を建てた。しかし、12世紀後半にアイユーブ朝のサラディン（サラーフ・アッディーン）に聖地を奪回された。これに対抗して各国の王が参加した第3回十字軍も、聖地奪回は成功しなかった。第4回十字軍は、商業圏の拡大をもくろむ3 商人に利用されて、商業上のライバルである4 を占領し、一時5 を建てたが、戦利品に満足し、聖地回復の目的を放棄した。第6回と第7回十字軍は、フランスの(B) ルイ9世が主導して北アフリカを攻撃したが、失敗した。このように、聖地回復の目的はついに達成されなかったが、(C) 大規模な人の移動を伴う 十字軍は、社会にさまざまな影響を与えた。

問1 文中の1 ~ 5 に適切な語句を下記の語群から選べ。

**【語群】**

- |                |                |            |
|----------------|----------------|------------|
| ア. コンスタンティノープル | イ. インノケンティウス3世 | ウ. ウィーン    |
| エ. アスクム王国      | オ. ラテン帝国       | カ. ウルバヌス2世 |
| キ. サルデニヤ王国     | ク. ヴェネツィア      | ケ. ジュネーヴ   |
| コ. イエルサレム王国    |                |            |

問2 下線部(A)に関連して、イベリア半島で展開されたキリスト教世界の拡大運動を答えよ。

問3 下線部(B)について、南フランスで異端であるカタリ派を弾圧するために起こした軍隊を、下から選べ。

- ア. アルビジョワ十字軍 イ. 北方十字軍 ウ. ヨハネ騎士団

問4 下線部(C)について、十字軍が政治や経済にどのような影響を与えたか、80字以内で述べよ。

**問題3**

以下の文を読んで、下の問い合わせに答えよ。

18世紀後半には、イギリスが西洋諸国で清との最大の貿易相手国となっていた。<sup>(A)</sup>このころイギリスで紅茶を飲む習慣が定着し、中国茶の輸入が急増したことにより、対清貿易は輸入超過となり、<sup>(B)</sup>支払いに用いられた銀がイギリスから中国に流出した。そこで、この事態を開拓すべく、19世紀の初めからは、中国茶をイギリス本国に、イギリスの1をインドに、インド産のアヘンを中国に運ぶ2を始めた。

その結果中国では、アヘンの吸飲が広がり、アヘンの密貿易が増えて、従来とは逆に大量の銀が国外に流出するようになった。早くからアヘンの吸飲や輸入を禁止していた清は、この実情を重視し、1839年、広州に3を派遣して取り締まりにあたらせた。彼は、アヘンを没収廃棄処分にした上で、アヘン貿易を禁じた。イギリスは、武力による自由貿易の拡大を正義と見なして清との開戦を決め、艦隊を派遣してアヘン戦争を起こした。

清はイギリスに敗北し、1842年に4を結んだ。この条約は、自由貿易の障害となっていた5の廃止、上海など長江以南の5港の開港、賠償金の支払い、香港島の割譲を定めた。さらに清は翌年イギリスと虎門塞追加条約を結ぶことで、6権や片務的最恵国待遇を与え、関税率も一定に固定された。また1844年にはアメリカ合衆国と7を、フランスと8を結び、同様の権利を認めた。しかし、この時点での清は、敗戦や条約をさほど深刻にとらえず、また、貿易もイギリスが期待したほどには利益が上がらなかった。

そこでイギリスは、1856年、9事件を口実にフランスとともに遠征軍を派遣し、広州を占領して天津にせまった。そのため清は、英仏および交渉に加わったアメリカ・10との天津条約に調印した。しかし1859年、条約批准のため北京に向かう英仏軍と現地の防衛部隊が衝突を起こすと、英仏軍は報復として北京郊外の11を略奪・破壊した上で、清と北京条約を締結した。二つの条約で清は、天津など11港の開港、キリスト教の内地布教、香港対岸の12半島先端部のイギリスへの割譲、外国公使の北京駐在などを認めた。さらに、アヘン貿易も公認された。ついに清は、1861年、外交事務を担当する13を設け、イギリスなどとの協調も模索していく。

問1 文中の **1** ~ **13** に適切な語句を下記の語群から選べ。

【語群】

- |                   |         |         |            |
|-------------------|---------|---------|------------|
| ア. 不輸不入           | イ. イタリア | ウ. 紅海貿易 | エ. メイフラワー号 |
| オ. 洪秀全            | カ. ロシア  | キ. 林則徐  | ク. アロー号    |
| ケ. 遼東             | コ. 縿製品  | サ. 南京条約 | シ. 九竜      |
| ス. 絹製品            | セ. 三角貿易 | ソ. イリ条約 | タ. 黃浦条約    |
| チ. アイグン（愛璉）条約     |         | ツ. 領事裁判 | テ. 圓明園     |
| ト. 草市             | ナ. 望厦条約 | ニ. 公行   | ヌ. 軍機処     |
| ネ. 辛丑和約（北京議定書）    |         | ノ. 顧和園  |            |
| ハ. 総理各国事務衙門（総理衙門） |         |         |            |

問2 下線部(A)に関連して、ヨーロッパでコーヒーや紅茶の普及とともに砂糖の需要が激増した。砂糖の生産地として、17世紀にイギリスとフランスによって領有されたところはどこか。下から選べ。

- ア. イオニア諸島      イ. モルッカ（マルク）諸島      ウ. 西インド諸島

問3 下線部(B)に関連して、ラテンアメリカから大量の銀が流入し、ヨーロッパの銀の価格が下がり、激しい物価上昇が起こった。これを何と言うか。漢字4字で記せ。

**問題 4**

以下の文を読み、下の問い合わせに答えよ。

オスマン帝国では、19世紀前半以降、エジプトの自立やバルカン地域の独立運動が起(A)こり、列強の後押しや干渉をまねいて、その支配領域を縮小させていった。

ナポレオンによる遠征後の混乱の中で、エジプトではムハンマド・アリーがエジプト総督に就任して実権を掌握し、在地の 1 勢力を一掃して近代化に乗り出した。

彼は、オスマン帝国の求めに応じてアラビア半島に出兵し、1818年に 2 王国を滅ぼした。オスマン帝国は 3 独立運動を鎮圧するために、ムハンマド・アリーに援軍を求めた。彼は、その見返りとして 4 領有とエジプト総督の世襲権を要求したが、拒否されたため、2度にわたってオスマン帝国と戦い、勝利をおさめた（エジプト・トルコ戦争）。しかし、ヨーロッパ諸国が介入し、1840年の 5 会議によって、スーサン以外の征服地を返還させ、ムハンマド・アリーはエジプトに押し込められた。

エジプトはその後、オスマン帝国の属国ではあったが事実上自立し、ムハンマド・アリーの子孫が総督位を世襲した。1869年には 6 が完成し、これによって地中海とインド洋が結ばれ、エジプトの戦略的な重要性が高まった。

しかし、これらの経費のために、国家財政は破綻して、1876年には国家財政がイギリスとフランスの管理下に置かれた。こうした列強の内政干渉に対し、軍人 7 が、「エジプト人のためのエジプトを」というスローガンをかけた幅広い抵抗運動を起こしたが、イギリスが軍隊を派遣してこれを鎮圧し、そのままエジプトを軍事占領して、事実上ここを保護下に置いた。

問1 文中の  ~  に適切な語句を下記の語群から選べ。

【語群】

- |           |          |                 |
|-----------|----------|-----------------|
| ア. シク     | イ. ワッハーブ | ウ. レザー・ハーン      |
| エ. マムルーク  | オ. イラク   | カ. シリア          |
| キ. イエニチエリ | ク. ギリシア  | ケ. ウラービー（オラービー） |
| コ. ハンガリー  | サ. パナマ運河 | シ. ロンドン         |
| ス. ウィーン   | セ. スエズ運河 |                 |

問2 下線部(A)に関連して、このような19世紀のオスマン帝国の領土内における国際紛争は、「東方問題」と呼ばれた。この「東方問題」について、下記のキーワードを用いて60字以内で説明しなさい。[キーワード：西欧列強]